

## 核兵器のない世界願う 8/7日

**高岡** 原水爆禁止高岡協議会（土岐慶正会長）の被爆者慰霊平和祈念式は6日、高岡市大手町の高岡大仏前で行われ、市民ら約30人が



核兵器のない平和な世界の実現を願った二写真。

極楽寺（同市坂下町）の内山芳広住職が読経した後、出席者が献花、焼香し、手を合わせた。土岐会長、笹島市教委生涯学習課長があいさつし、全員で「原爆を許すまじ」を歌った。祈念式は原爆が投下された8月6日から9日に毎年行っている。

## 「安保法案反対」通勤客らに訴え

8/6朝日 県内3駅前

参議院で審議されている安全保障関連法案に反対し、県平和運動センターなどが7日朝、県内3駅の駅前で街頭活動をした。富山市の富山駅前では、約20人が「戦争させない」「9条壊すな!」と書かれたカードを掲げ、横断歩道を渡る会社員や通勤途中の車列、路面電車などにアピールした。（江向彩也夏）



安保関連法案反対をアピールする参加者ら。富山市新富町1丁目

## 平和の火リレー 小矢部にゴール

8/6北中

広島に原爆が落とされて七十年となる六日、戦争のない社会の実現を訴え、県内十五市町村を走る「反核・平和の火リレー」が小矢部市でゴールした。日本青年学生平和友好祭実行委員会主催。広島市の平和記念公園から採火した「平和の火」をともし、自治体や企業の労働組合の



「平和の火」をともし、ゴールした田中大寛さんと石原有紀子さん。小矢部市役所で

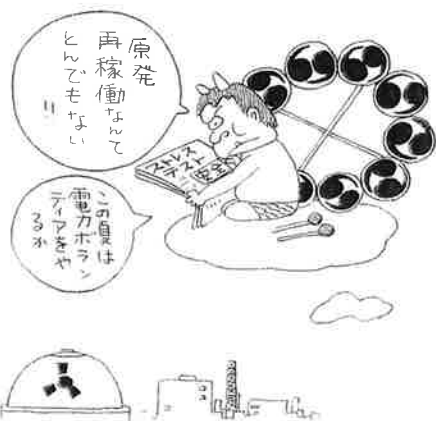
閉会式で甲谷尚英副実行委員長が東京電力の福島第一原発事故に触れ、「核と人類は共存できない。平和を強くアピールしていかなければいけない」と締めくくった。（近藤統義）

若手約二百人が三日から約三百メートルの道のりをリレーした。ゴール地点の小矢部市役所ではトーチを掲げた最終走者の同市職員、石原有紀子さんと田中大寛さんが軽快な足取りで到着し、他の職員たちに出迎えられた。

# 川内原発 再稼働 緊急 抗議集会

デモ  
8月10日(月) 午後6時15分  
CiC前広場 (JR富山駅前)

1年11月の原発ゼロから 再稼働の突破口ねらう...



自然エネルギー